

「特別の教科 道徳」学習指導略案

第1学年3組25名
指導者 舩 佳市

1. 主題名 「しんせつにすると気持ちがいい」 B-6 親切・思いやり

2. 資料名 「はしの上のおおかみ」(出典:Gakken「みんなのどうとく①」)

3. ねらい

親切にしたときの気持ちよさを知り、誰に対しても思いやりの心を持って接しようとする心情を育てる。

4. 展開

	学習活動(○発問、☆中心発問)と児童の反応(・)	◇指導上の留意点 ◆評価の視点
導入 5分	1 学習課題を設ける。 ○みんなはとても親切だけど、自分はなかなか親切にできないということはありませんか。 ・弟に親切にできない。 ・仲良しじゃないとできない。 ・上級生にはできない。 ・知らない人だとできない。	◇児童の優しさを具体的に称賛しながら、相手や状況によってできないことがあることを、素直に振り返らせるようにする。
展開 35分	2 「はしの上のおおかみ」を読んで考え、話し合う。 ○はじめと終わりの「えへん、へん。」の違いを考えましょう。 〈はじめ〉 ・おもしろい。 ・おれの方が強いぞ。 〈終わり〉 ・いいことをしてよかった。 ・すっきりした。 ・いい気持ちになれた。 ○おおかみは、なぜ、前よりずっといい気持ちになったのでしょうか。 ・うさぎが喜んでくれたから。 ・くまと同じように親切にできたから。	◇「はじめ」と「終わり」に分けて、おおかみの気持ちの違いを押さえる。 ◇「威張る気持ちよさ」と「親切にする気持ちよさ」は何か違うのか、どうしてずっといい気持ちなのかを捉えることができるようにする。
	☆おおかみは、くまのうしろすがたを見ながら、心の中で、くまにどんなことを言っているでしょう。 ・くまさんが親切にしてくれたおかげだよ。 ・威張るより親切の方が気持ちがいいって分かった。 ・これからは誰にでも親切にするよ。	◇発言を求める前に、くまへの思いをつぶやく時間をとる。くまから学んだこと、やってみて分かったことを表現できるようにする。 ◆誰にでも親切にする気持ちよさを自分の言葉で表現している。(発言・ワークシート)
	3 親切にできなかった体験を振り返り、伝え合う。 ○「あのとき親切にすればよかったな」ということを伝え合ってみましょう。 ・弟がわがままを言っていたとき、助けてあげなかったけど、やっぱりあのとき助けてあげればよかった。 ・幼稚園が違う人には親切にできなかったけど、できていたらいい気持ちだったと思う。	◆親切にできなかった自分を振り返り「あのときもし親切にしていたら」と想像しようとしている。(発言)
終末 5分	4 「おおかみ」に手紙を書く。 ○今日の学習で思い出したこと、思ったり考えたりしたことをおおかみさんに伝えてみましょう。	◇おおかみへのメッセージを考えることで、本時の学びを自分の言葉でまとめることができるようにする。